



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

CITATION:

質疑應答. 地球 1930, 14(3): 241-242

ISSUE DATE:

1930-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183803>

RIGHT:

○ロシアの國營農場

質疑應答

以上は現在のロシヤの農業の米國化の傾向を語るものであるが、果して都合よく行けば、ロシヤは再び世界の穀倉となりうるのである。土地廣くして人の少い國であるから、さうしたことも考へられ實行されるのであるが、問題はさうしたギガントの農夫の能力如何である、人は働かないでも全く機械力によるとすれば、つぎは機械と人力との争闘が起ることとなる、しかも別項述ぶる通りノヴォシビルスクには食糧の不足がある。矛盾の多い國であるとせねばならぬ。

質疑應答

質疑應答

問 ノヴオシビルスク市

三

は西伯利首都を當地に移し、一九二五年ノヴオシビルスクと改稱し、西伯利行政經濟等萬般の中心地として以來人口頗に増加し、一九二六年には十二萬、現在十七萬を數へ、諸種工場建設に伴ひ、市街は日進歩膨脹すると共に面目を一新し、今は革命以前に殷盛であつたトムスク、オムスク、竝イルクーツク等を凌ぎ嶄然頭角を顯はしつゝ發展の路を辿つてゐる。そこで住宅難の問題が発生し、共同住宅の大きいのが續々として築かれる、旅館も狭くて收容洩の旅行者が困るのを救はんとする増築も行はれる。前世紀の遺物たる停車場も亦當然改築されねばならぬ運命にあつて、本年中にトルケスタンシベリヤ鐵道の開通と共に急速に實行せらるべく、オビ河の埠頭も將來左岸につくられる事となつた。水陸の交通と相俟つて、シベリヤ横斷航空路の中心として市の郊外エリツオフカに飛行場が出来た。自動車の開通火力發電所の増設上水道下水道の開通等にあらゆる設備が改良される筈であるが、實は目下その資源が不足してゐる。

當市オビ河對岸に工場地帯を計畫し、農具製造、綿糸紡績、亞麻紡績等を行はんとし、同時にこゝに社會主義的都市をつくる筈である。社會主義的都市とは、社會化されたる勞働及生活様態を有する都市といふ事で、一、生活上の主要素、食物衛生、洗濯、入浴等の公共施設、二、兒童の公共的養育及教育、三、婦人を解放し男子同様に社會的業務につきしむること、四、文化的設備の一般利用等を企つるものであつて、この市域に於て綜合住宅をつくり、一の住宅には五住居團を

合せて千人の一大綜合住家とする筈である。從て親も子もないといふ國から、母は子女を手許に置いてよく、育兒所に托して保育してもよいわけである。その計畫完成の一九三四年には其生産力は現在に二十倍するといふことである、同時に目下九千人の勞働者が六萬五千人になる筈で、市の人口六十萬となる豫定である。これは一に空中樓閣らしい設計であるが、本年五月二十日附の我領事報告によると、ノヴオシビルスクは目下物資缺乏の爲め、牛酪、烟草、砂糖等の制限配給を行ひ牛肉の如きは、四月以來原料不足のため國營販賣になつてしまつた。これは昨年シベリヤの氣候不良のために家畜が出来なかつたこと及、農業集團化の強行を恐れ、家畜の共有を見越して農民共が一時に賣放つたため、現在の家畜數が激減した結果である。

食料品の不足とその騰貴は一般市民をして家庭の炊事を斷念せしめ公設食堂に趨るの止むなきに至らしめた。市民は食堂に行くか夫々容器を持參して定食を家庭に持歸るのであるが、それが急に出来ぬために、四、五時間もまたされる。鹽藏の馬肉を用ひるので頗るまづい定食である、當路者は食堂を増設し定食十七哥半を以て賄居るも、しかも其材料の不足は驚くべきものがある、さうした食糧の缺乏を一方にして一方に壯大な都市を計畫してゐる所に新らしいロシヤの重大な側面がある。ロシヤは近頃ロシヤの工業化といふことを目標にして宣傳をやつてゐるが、廣大な土地、無學な人民を相手にどうして近代の都市が實行せられうるであらうか疑はしい限りである。